

題名：横浜労災病院で「川崎病」や「発熱」で入院された患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	BOM. Ver2022 導入後のアウトカム評価の効果検討 (2025-35)
当院の研究責任者 (所属)	阿部佑香 (診療情報管理室)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	「クリニカルパス（パス）」とは、患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む当院での標準的な診療計画です。日にち毎に達成すべき目標を定めており、標準からどの程度ずれているのかを分析することで医療の質を改善することができると言われております。当院では、患者さんの状態が、パス毎の使用基準を満たしている場合に、疾患別のパスを患者さんに使用し、診療計画の目標達成状況を医療職が日々評価・記録を行い、その結果を分析することで、診療計画の改善を行っています。2023 年 10 月、分析の効率化・評価の標準化を目的に、患者さんの目標の用語を整理・標準化した日本クリニカルパス学会の用語集「Basic Outcome Master(BOM)」を電子カルテに導入しました。BOM 導入による、医療職の目標達成評価の正確性や標準からのずれがあった際の記録率（バリエーション入力率）の変化について、検討することが本研究の目的です。BOM 導入後のこれらの変化を検討することで、BOM の導入意義や限界点を示すことができ、当院での今後の計画の基礎となるだけでなく、他病院での導入支援の一助となると考えます。
研究の方法 (利用する試料・情報)	【研究対象者】 期間：2023 年 10 月 1 日から 2024 年 2 月 29 日、2024 年 4 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日 (1) 上記期間に当院小児科に入院された患者さんのうち、「川崎病」と診断された患者さん。 (2) 上記期間内に「発熱」で入院された患者さん。 【研究に利用する情報】 パスの達成目標の評価結果、体温、在院日数を電子カルテ内から収集する。

	【研究実施期間】 2025 年 11 月～ 2026 年 1 月
利用する試料・情報の 該当期間	2023 年 10 月～ 2024 年 8 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関には提出しません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会誌等への投稿を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：阿部 佑香（所属：診療情報管理室）
備考	